環境報告書（第十三回）

第91期(H27年度･27.5/21～28.5/20)

平成28年6月10日
環境管理責任者

当社足立生産センターにおける環境活動も、スタート以来丸12年を経過致しました。
お陰様を持ちまして、関係各位のご支援をいただき、一定の成果を得ることが出来ましたこと、深く感謝する次第です。
今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。
当社足立生産センターにおける本年度(91期)環境マネジメントシステム(EMS)の状況についてご報告いたします。

■目的･目標活動結果

著しい環境側面	環境への影響等	是正措置等
損紙の発生	地球環境(森林資源)を守る	ここ数年、難易度の高い薄紙印刷の需要増と、印刷部数の小ロット化が一段と進んでいる。91期は作業基準書及び作業手順書の作成と読合せを重点課題の一つとして作業にあたり、その効果もあり、結果として目標を達成することが出来た。今後も作業方法の工夫と改善により損紙低減に努める。
電気を使用する ガスを使用する	有限なエネルギー資源を有効に使う	日常･月次点検の強化、機械整備･調整、事前の消耗品交換等を強化し作業にあたった。特に紙詰まり、水棒拭きの原因を特定し、対策を強化し実施した結果、機械停止時間も減少、順調な機械稼働を維持することが出来、その結果として電気･ガスとも目標を達成することが出来た。今後も継続していく。
廃インキの削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	数年来取り組んでいるインキ在庫の的確な管理と、適切な発注に加え、残インキを調肉して他の仕事での有効活用などの徹底により、目標を達成することが出来た。今後も継続して取り組んでいく。
ロスミスによる用紙使用量の削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	仕事内容の適切な把握、技術者の意識向上を図りながら取り組んだが、僅かながら目標達成には至らなかった。今後は、ロスミス分析の精度を上げ、作業前打合せの精度向上、効率化、改善等を図りトラブル未然防止を強化しながら目標達成に向け推進していく。
廃棄物の削減	廃棄物を削減し省資源に努める(プラスの環境側面)	資源の有効活用と、廃棄物の削減を目標として廃棄物のリサイクル化をより推進した。その結果、一般廃棄物の削減に繋がり目標を達成することが出来た。今後も継続し推進していく。

■主な活動状況

- 当社は印刷オペレータや営業社員に対して、積極的に外部教育機関へ派遣し、印刷技術･知識の向上を図っている。同時に環境活動(力量)へのスキルアップ改善へもつなげ、損紙削減活動等にも寄与している。
- 前期(91期)は、機械トラブルの原因で最も多い紙詰まりや水棒拭きの原因調査と、その対策を立てて実施した結果、生産効率も上昇し省エネにも寄与した。
- 目標の進捗状況、各種データの分析結果などを数値管理だけでなくグラフ化など“見える化”を更に推進した。また、生産現場のライン引き、整理整頓をさらに進めることにより、職場環境の改善にも努力した。

以上のような活動を今後とも展開し、環境活動に貢献できる会社を、更に目指していきます。